

令和6年度 泉南市教育委員会
点検・評価報告書
(令和5年度対象)

令和6年10月
泉南市教育委員会

目 次

はじめに	2
1 趣旨	2
2 実施方針	2
令和6年度泉南市教育委員会評価委員会の点検・評価	2
1 点検・評価	2
2 泉南市教育委員会評価委員会開催日程	3
3 泉南市教育委員会評価委員会委員名簿	3
泉南市教育委員会について	4
1 教育委員会の構成	4
2 教育委員会会議の開催状況	4
3 教育委員会会議以外の活動状況	4
令和6年度評価調書(令和5年度対象)	5
1 泉南市教育振興基本計画(第3次)で目指すもの	5
2 泉南っ子日本一宣言	5
3 泉南市教育振興基本計画(第3次)の基本方針及び施策項目	6
4 評価調書の見方	7
5 点検・評価の重点項目	9
点検・評価の重点項目評価調書1～16	11
泉南市教育委員会評価委員会による意見	43
1 基本方針1～5に対する意見	43
2 総評	44
泉南市教育委員会による令和5年度事業等の点検及び評価(総括)	45
泉南市教育委員会評価委員会規則	46

別添関連資料

- ・泉南市教育委員会評価委員会評価調書参考資料(令和5年度対象)
- ・泉南市教育振興基本計画(第3次)

はじめに

1 趣旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定により、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進するため、泉南市教育委員会の点検・評価を実施します。

2 実施方針

- (1) 点検及び評価は、前年度の事務事業を対象とし、その進捗状況の総括、取組効果や今後の課題について考察するものとし、毎年 1 回実施します。
- (2) 点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る必要があるため、泉南市教育委員会評価委員会を設置します。
- (3) 評価委員会委員は、学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱し、その職務が終了したときは、解任されるものとします。
- (4) 教育委員会において、点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を泉南市議会へ提出し、報告書を公表するものとします。
- (5) 施策項目ごとに設定した成果指標に基づいて総括を行い、次年度以降の方向性を示します。また、次期泉南市教育振興基本計画へ反映し、施策を継承、発展させていきます。

令和 6 年度泉南市教育委員会評価委員会の点検・評価

1 点検・評価

泉南市教育振興基本計画（第 3 次）（計画期間：令和 5 年度から令和 9 年度まで）に掲げた施策項目の中から、令和 5 年度の重点項目として抽出した 16 施策項目を対象として、泉南市教育委員会評価委員会の意見を付記し、点検と評価を行いました。

年度	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	令和 9
	2023	2024	2025	2026	2027
泉南市教育振興基本計画 （第 3 次）	計画期間 				

2 泉南市教育委員会評価委員会開催日程

実施回・開催日程	案件
第1回 令和6年7月11日(木)	・点検・評価報告書(素案)の内容説明、質疑
第2回 令和6年8月22日(木)	・点検・評価報告書(素案)の意見聴取 ・追加質問・質問説明 ・評価(評価委員会の評価・意見欄)
第3回 令和6年10月3日(木)	・点検・評価報告書(素案)の意見・総括確認

3 泉南市教育委員会評価委員会委員名簿

(五十音順)

委員氏名	所属等
岡本 晃	泉南市青少年指導員協議会副会長
佐野 耕治	元小学校校長
松本 愛	泉南市PTA協議会会長
宮崎 勝男	元小学校校長

Ⅲ 泉南市教育委員会について

1 教育委員会の構成

職 名	氏 名	任 期
教育長	冨森 ゆみ子	令和4年1月1日から令和7年3月31日まで
委員（職務代理） （令和5年12月24日まで）	藪内 進	令和元年12月25日から令和5年12月24日まで
委員（職務代理） （令和5年12月25日から）	太田 淳子	令和3年4月1日から令和7年3月31日まで
委員	湊 久晶	令和4年7月12日から令和8年7月11日まで
委員	飯沼 治美	令和5年3月14日から令和9年3月13日まで
委員	辻野 治重	令和5年12月25日から令和9年12月24日まで

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回、定例会を開催し、議案・報告案件の審議を行っています。また、必要があるときに臨時会を開催しています。

（1）令和5年度教育委員会会議開催状況

定例会	臨時会	議案数	報告案件数
12回	1回	41件	31件

3 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会会議や各種協議会等の出席のほか、学校行事や式典、研修・視察等へ出席するなど、泉南市の行事や教育活動に触れる機会を設け、教育現場の実情等について知見を広めてきました。

（1）各種協議会等への出席

- ・近畿市町村教育委員会研修大会
- ・市町村教育委員会教育長会議
- ・大阪府都市教育長協議会
- ・近畿都市教育長協議会
- ・泉南地区教育長連絡協議会
- ・泉南地区教育委員会連絡協議会
- ・泉南地区都市教育長協議会
- ・大阪府都市教育委員会連絡協議会
- ・大阪府都市教育長協議会研修会

令和6年度評価調書（令和5年度対象）

1 泉南市教育振興基本計画（第3次）で目指すもの

（1）目指す子ども像

子どもたちが課題を克服するとともに、グローバル化や少子化などの社会の急速な変化の中で、たくましく生き抜き、支える人になってほしいと願っています。そのために次のような子ども（人間）を育成することを目指します。

希望と力を持ち、たくましく生き抜く子ども

希望を持ち、現実の困難を乗り越えるたくましい子ども

確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく備えた子ども

グローバル社会を生き抜く語学力とコミュニケーション能力を持つ子ども

（2）「目指す子ども像」を実現するための基本理念

皆で育む「大いなる希望」 - つながり力を力にして -

2 泉南っ子日本一宣言

この宣言は、泉南市教育振興基本計画に示されている、めざす子ども像の実現に向け、「もっとみんながわかる言葉にしよう!」と、泉南市小中学校の児童会・生徒会が意見を出し合い、子どもたちのことばで考えたものです。

泉南っ子日本一宣言

わたしたちはあきらめずに夢にチャレンジする泉南っ子

海のような広い心をもつ泉南っ子

あきらめずに夢にチャレンジする泉南っ子

チャレンジ学習できるを増やす泉南っ子

あきで人のつながりを切り開け!! 泉南っ子

安心安全と笑顔をみんなに泉南っ子

をめざします

この宣言は、泉南市の目指す子ども像「希望と力を持ち、たくましく生き抜く子ども」

希望を持ち、現実の困難を乗り越えるたくましい子ども

確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく備えた子ども

グローバル社会を生き抜く語学力とコミュニケーション能力を持つ子ども

この宣言は、泉南市小中学校の児童会・生徒会が意見を出し合い、子どもたちのことばでつくりあげました。

2023年12月

3 泉南市教育振興基本計画（第3次）の基本方針及び施策項目

		(施策項目)
基本方針1	確かな学力の定着と豊かな心を育成する	(1) 人権教育の推進と豊かな人間性・社会性の育成
		(2) 学力の向上
		(3) 全ての子どもの学びと育ちの支援
		(4) 国際交流と外国語教育の推進
		(5) 子育て・子育て支援の充実、強化
		(6) 小中一貫教育の推進
		(7) 健やかな心身の育成
基本方針2	学びを支える教育基盤を整える	(1) 学校組織力の向上
		(2) 教職員の資質・能力の向上
		(3) 家庭学習の充実と支援
		(4) 調整区解消
基本方針3	安全・安心な教育環境を整備する	(1) 子どもが抱える課題に対応できる相談体制の充実
		(2) 泉南市立小中学校再編計画の推進と開かれた学校づくり
		(3) 多様な主体と連携した安全対策の推進
		(4) 安全で快適な教育環境の整備
		(5) 安全・安心な学校給食と食育の推進
基本方針4	生涯学習を推進する	(1) 人権尊重のまちづくり
		(2) 社会教育の充実
		(3) スポーツ活動の推進
		(4) 青少年の健全育成
		(5) 子どもの居場所づくりの推進
		(6) 歴史的資産の活用と市民文化活動の充実
基本方針5	市を挙げて教育施策の推進体制を確立する	(1) 子どもの権利に関する条例の推進
		(2) 市の一般施策との連携強化
		(3) 保護者の負担軽減
		(4) 国等の補助制度の積極的な活用
		(5) 総合教育会議における積極的な協議・調整

4 評価調書の見方

点検・評価の重点項目評価調書

1. 基本的事項 【PLAN】

担当課

基本方針	第3次泉南市教育振興基本計画の基本方針、施策項目を記載しています	
施策項目	あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 	
泉南っ子 日本一宣言	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 	「泉南っ子日本一宣言」 (泉南市の小中学生が 意見を出し合い、子ども たちのことばで考えた ものです 該当するものに「 」を 記載しています
	あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 	
	安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 	
	海のような広い心をもつ 泉南っ子 	
(1) 施策の概要		
施策項目の具体的な内容、施策の概要を記載しています		
(2) 前年度までの主な課題		
昨年度までの主な課題や前年度までに評価委員会から受けた意見などを記載しています		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
評価年度に実施した主な事業実績を記載しています						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標① 指標② 指標③	教育振興基本計画で設定した成果指標、取組状況、達成度を記載しています					
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費① 事務事業費② 事務事業費③	施策項目に関連する事務事業名、過去3か年の決算額、評価時点の翌年度の予算額を記載しています					

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> A・B・C の3段階評価とし、自己評価を記載しています。 </div>	
(2) 取組の主な成果と課題	
<div style="border: 1px dashed blue; padding: 10px;"> <p>「2. 施策の現状把握【D0】 (1) 主な事業実績」に記載した内容を踏まえ、取組の主な成果と課題を記載しています また、自己評価がA評価やC評価の場合は、評価の要因を分析した内容とそれに対する課題を記載しています</p> </div>	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> A・B・C の3段階評価とし、教育委員会評価委員会からの評価を記載しています。 </div>	
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<div style="border: 1px dashed blue; padding: 10px;"> 教育委員会評価委員会から出された意見を記載しています </div>	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<div style="border: 1px dashed blue; padding: 10px;"> 3. 評価【CHECK】の内容を踏まえ、具体的な今後の主な取組や改善策を記載しています </div>
--

5 点検・評価の重点項目

- (1) 確かな学力の定着と豊かな心を育成する
人権教育の推進と豊かな人間性・社会性の育成 (1 -) 人権国際教育課
- (2) 確かな学力の定着と豊かな心を育成する
学力の向上 (1 -) 学力向上対策室
- (3) 確かな学力の定着と豊かな心を育成する
全ての子どもの学びと育ちの支援 (1 -) 指導課
- (4) 確かな学力の定着と豊かな心を育成する
全ての子どもを学ぶと育ちの支援 (1 -) 学力向上対策室
- (5) 確かな学力の定着と豊かな心を育成する
国際交流と外国語教育の推進 (1 -) 人権国際教育課
- (6) 確かな学力の定着と豊かな心を育成する
子育て・子育て支援の充実、強化 (1 -) 指導課
- (7) 学びを支える教育基盤を整える
教職員の資質・能力の向上 (2 -) 指導課
- (8) 安全・安心な教育環境を整備する
泉南市立小中学校再編計画の推進と開かれた学校づくり (3 -) . 教育総務課
- (9) 安全・安心な教育環境を整備する
安全で快適な教育環境の整備 (3 -) 教育総務課
- (10) 生涯学習を推進する
社会教育の充実 (4 -) 文化振興課 (公民館)
- (11) 生涯学習を推進する
スポーツ活動の推進 (4 -) 生涯学習課

- (12) 生涯学習を推進する
青少年の健全育成(4 -) 生涯学習課(青少年センター)

- (13) 生涯学習を推進する
子どもの居場所づくりの推進(4 -) 生涯学習課

- (14) 生涯学習を推進する
子どもの居場所づくりの推進(4 -) 生涯学習課(青少年センター)

- (15) 市を挙げて教育施策の推進体制を確立する
子どもの権利に関する条例の推進(5 -) 人権国際教育課

- (16) 市を挙げて教育施策の推進体制を確立する
保護者の負担軽減(5 -) 教育サービス課

点検・評価の重点項目評価調書 1

担当課 (人権国際教育課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	1	確かな学力の定着と豊かな心を育成する
施策項目	1	人権教育の推進と豊かな人間性・社会性の育成
泉南っ子 日本一宣言		あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
		チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
		あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
		安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
	○	海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<p>・性別、国籍、障害の有無、生まれた環境等に関わらず、自己に誇りを持ち、互いの人格を尊重し合える豊かな関係を育めるよう人権保育教育を推進する。</p> <p>・幼稚園、小・中学校では、社会の仕組みを知り、社会の一員として未来を拓くキャリア教育を推進するとともに、自他の人権を守る実践行動につながるような人権に関する知的理解、人権感覚、意識・意欲・態度を育む人権教育や、規範意識や自他を尊重できる心を育む道徳教育を推進する。</p> <p>・子どもが人権の意義や内容、重要性を理解できるよう教職員への研修等を通じて人権保育、人権教育の向上を図る。</p>		
(2) 前年度までの主な課題		
<p>・経験年数の浅い教職員が増えたことで、個人人権課題に関する教職員の知識が少ないことが課題となっている。</p> <p>・文部科学省や大阪府が示す内容は確かに重要ではあるが、同時に泉南市としての重点課題の設定もあってもよいのではないかと。また多様性(ダイバーシティ)の観点から「人権教育」を幅広くとらえるための教職員研修や保護者・地域への啓発の機会の充実も求められる。</p> <p>・これまで各学校において部落問題学習を行ってきたが、今後は中学校区において系統的に学習を進めていく必要がある。</p>		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
○教職員人権教育研修						
<ul style="list-style-type: none"> ・初任者、10年経験者人権教育研修...「子どもたちが安心して過ごせる学級づくり」 ・人権教育指導者育成講座...部落問題、子どもの権利に関する研修 ・人権保育教育講座...在日外国人教育・日本語指導に関する研修 						
○校内人権研修・研究授業や園内人権研修・研究保育等での指導助言						
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校...11回 ・中学校区、市内教職員対象人権研修...3回 ・就学前...26回 						
○人権国際教育課ヒアリング...泉南市内の幼小中16校園において5月と2月に実施						
○人権教育担当者会(小中14校)、人権保育担当者会(8園)を年間各2回ずつ実施						
<ul style="list-style-type: none"> ・各学校園の取組状況の共有、中学校区での人権教育の系統性の整理を行った。令和4年度から継続して系統性の整理を行っており、個人人権課題5領域(部落問題・男女平等・在日外国人教育・障害者の人権・子どもの権利)のうち、2領域について各中学校区で整理を行った。(残りの領域については、令和6年度以降で整理を行う予定) 						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	人権教育に関する研修・講座参加者満足度		-	4.53	4	113%
指標	人権に関する研修、研究保育・研究授業の実施校園数		-	16	16	100%
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	人権教育推進事業	千円	1,031	853	837	1,506
事務事業費	教職員人権教育推進事業	千円	1,333	1,204	1,224	1,391
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(2) 取組の主な成果と課題	
<p>・ 個人権課題に関する当事者からの話や、先進事例の研修などを実施した。多くの教職員が個人権課題に関する知識と具体的な実践例、実践を進めるうえで大切にすることなどを考える機会となった。参加者の満足度についても、5段階評価で4.53となっており、教職員のニーズに合ったものを実施することができた。</p> <p>・ 令和4年度までは、コロナ禍でなかなか各学校園で研究授業や人権研修を実施できなかったが、令和5年度は多くの学校園で実施できた。個人権課題に関する指導助言だけでなく、日常から子どもの言動の裏にある思いや悩みなどの背景をつかむことの大切さ、子どもと子どもをつなぐ集団づくりの大切さについても指導助言を行った。</p> <p>・ 各中学校区で系統性の整理をするだけでなく、実際に実践した振り返りを中学校区で共有し、取組の検証を行うことができた。担当会会の時間内だけでは丁寧な検証を行うのは難しかったが、次年度以降も各中学校区で実践後の振り返りや検証を進めてもらい、よりよい取組につなげていきたい。</p>	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育の取組がどのように進んでいるかを数値でみるのは難しいが、満足度を意識して取組を進めていきたい。 ・ 外国にルーツのある子どもや日本語指導が必要な子どもが学校で安心して生活したり学んだりできるようにしていきたい。 ・ 外国にルーツのある子どもの保護者への通訳サポートにも力を入れていきたい。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度と同様に、各中学校区で系統性を意識した実践を行い、子どもの振り返りをもとにした総括を行っていく。 ・ 人権教育指導者育成講座や人権保育教育講座では、現在の日本や泉南市の状況をふまえた人権課題の研修を実施できるよう、様々な機会に情報収集をするとともに、学校園のニーズも把握していく。 ・ 日本語指導が必要な子どもが年々増えているため、日本語指導に関する研修や指導助言、日本語指導の指導略案の作成を進めていく。 ・ 保護者も含めた母語サポート（翻訳、通訳）にも引き続き取り組んでいくとともに、外国にルーツのある家庭へ翻訳通訳サポートについて周知していく。

点検・評価の重点項目評価調書 2

担当課 (学 力 向 上 対 策 室)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	1	確かな学力の定着と豊かな心を育成する
施策項目	2	学力の向上
泉南っ子 日本一宣言		あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
		チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
		あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
		安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
		海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
子どもたちの主体的に学ぶ力の育成と抜本的な学力向上施策の展開 ・AIドリルの活用 ・市独自の学力検査等の実施 ・家庭・地域との連携		
(2) 前年度までの主な課題		
・全国学力・学習状況調査における基礎基本問題でのつまづき・未定着が見られる。 R4 「知識・技能」小学校 国・算ともに大阪府平均以下、 中学校 国・数ともに大阪府平均以下 ・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査における「(学校の授業時間以外に)平日1日1時間以上勉強している」の回答の数値が全国・大阪府の数値よりも下回る。 R4 小学校 全国：59.4%、府：50.7%、市：44.6%、 中学校 全国：69.5%、府：67.7%、市：57.9%		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
・令和5(2023)年7月より市内全小中学生を対象にAIドリルを導入し、積極的な活用を推進。 ・小学2年生から中学2年生までを対象に、民間作成の認知能力検査を実施し、課題と傾向を分析。 ・年間で10号の「学力向上対策室だより」を発行し、教育委員会や学校で取り組んでいることや子どもの活躍、家庭における子どもへのかかわり方など、情報発信による啓発をおこなった。 ・R5未実施児童生徒アンケートにおける「あてはまる」「ややあてはまる」の肯定的回答は、「AIドリルをつかうと学習がわかりやすくなった」という質問では小学校で約70%、中学校で約52%、「AIドリルをつかうと自分のペースで学習できる」という質問では小学校で約80%、中学校で約65%、「新しい学年でもAIドリルをつかって学習したい」という質問では小学校で約73%、中学校で約51%、という結果であった。						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2～4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	小学校：全国学力・学習状況調査結果の全国比	%	国語：92.9 算数：93.3	国語：90.3 算数：90.1	100.0	国語：90.3 算数：90.1
指標	中学校：全国学力・学習状況調査結果の全国比	%	国語：92.7 数学：79.7	国語：87.0 数学：86.3	100.0	国語：87.0 数学：86.3
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	学力向上推進事業	千円	-	-	7,528	16,104
事務事業費		千円				
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
成果 ・ AIドリルの導入年度において、小学校で積極的な活用が多くみられた。 ・ 授業での活用や家庭学習への位置づけなどを積極的に進めている学校があった。 ・ 認知能力検査の結果を授業改善や児童生徒理解に活用する意識づけを始めることができた。 ・ 令和5(2023)年7月から、毎月1号以上の「学力向上対策室だより」を発行することで、積極的な情報発信を行うことができた。	
課題 ・ AIドリルの使用実績は、学校ごとや学年ごとなど差があり、市全体として共通した取組を進めるなどの検討が必要である。 ・ AIドリルの中学校の使用実績が低いため、中学校での活用方法の検討、好事例の発信などを行うことが必要である。 ・ 認知能力検査の実施が11月以降となり、結果が1月以降の返却となったため、結果を活用した授業改善方法の検討や児童生徒理解への活用方法の検討などが十分に行えなかった。	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
・ AIドリルの導入を実現したことは評価できる。 ・ 学校や校種による活用頻度の差を解消できるように、一層の活用推進を行っていただきたい。 ・ 情報発信などを通じた家庭学習時間の向上をより一層行っていただきたい。	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・ AIドリルの月毎利用状況を各校に情報提供し、活用の推進を図る。 ・ AIドリル活用の好事例を発信する。 ・ 市内ICT担当者会や学力向上担当者会などで活用の検討を提案する。 ・ 認知能力検査に加え、標準学力検査を実施し、結果の分析、活用を推進することで、一層の児童生徒理解と授業改善を図る。 ・ 引き続き、月1回を目標に家庭・地域に向けた通信を発行する。

点検・評価の重点項目評価調書 3

担当課 (指 導 課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	1	確かな学力の定着と豊かな心を育成する
施策項目	3	全ての子どもの学びと育ちの支援
泉南っ子 日本一宣言	○	あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
	○	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
	○	あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
	○	安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
	○	海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<p>支援を要する児童生徒の学校生活の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級設置の有無による利用格差の解消に向けて通級指導教室の周知 本市支援リーディングチームによる支援教育の啓発及び通級指導教室の活用を推進する。 「自校通級」ができない児童生徒への対策 通級指導教室の設置がない学校に在籍する児童生徒が、教室を活用できるよう「他校通級」や「巡回通級」を推進する。 通級指導教室の増設の推進 通級指導教室の設置がない学校への設置の推進を図り、将来的にはすべての学校への設置を目指す。 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・通級活用児童の増加のみを評価するのではなく、そこで学習する子どもたちがどのように学びを充実させていくことができているのかを具体的に把握し、検証することが必要である。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<p>(1) 支援リーディングチームによる通級指導教室の周知 本市支援リーディングチームには通級指導教室の全担当者に通級教室未設置校からの支援コーディネーターを加え活動を継続している。支援リーディングチームは本市全体の支援教育の発展・推進のため、教職員向けに支援に関する通信「LTだより」を発行したり、支援コーディネーターに向けての研修を行ったりする等、積極的に活動した。</p> <p>(2) 他校通級・巡回通級の推進 通級指導教室の設置がない学校に在籍する児童生徒が、設置校に通い通級指導を活用する他校通級や、設置校担当教員が巡回指導を行うことで通級指導を活用する巡回通級を行った。また、巡回通級時には担当校の教員だけでなく他の学校の通級担当者が参観することで、お互いの資質向上を図った。</p> <p>(3) 通級指導教室の設置状況 通級指導教室は、令和5年度に雄信小学校以外の小学校9校中学校4校に設置が完了した。令和6年度には雄信小学校の設置を目指し、市内小中学校すべてに通級指導教室の設置を目指す。</p>						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2～4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	(第3次泉南市教育振興基本計画で指標の記載なし)					
指標						
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	教育推進事業	千円	112,615	102,100	100,610	131,954
事務事業費		千円				
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
<p>(1) リーディングチーム会議年間9回開催 内 泉南支援学校教諭(リーディングティーチャー)が講師として研修、事例検討会を5回行う。 ・支援コーディネーター研修 年間2回開催 1回目講師 学力向上対策支援員 2回目講師 新家小学校リーディングティーチャー</p> <p>(2) 巡回通級時に、担当校の教員だけでなく他の学校の通級担当者が参観し指導方法について検討することで、通級担当者の指導力向上が図られ、各小中学校での児童生徒への指導に活かすことができた。</p> <p>(3) 新家小学校 新家東小学校 西信達小学校 3校の通級指導教室の新設</p>	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度において、全校に通級指導教室の設置に向けての準備ができたことは評価できる。 ・今後は、通級教室の担当者と学校が連携することにより、どのように学びを充実させていくのかということがポイントになると考える。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・支援教育の充実のために、市内各小中学校の支援教育コーディネーターで、リーディングチームを構成しリーディングチーム会議を年間12回開催する。その内 泉南支援学校教諭(リーディングティーチャー)が講師として研修、事例検討会を5回行う。 ・支援保育教育の発展・充実のため、支援コーディネーター研修を実施する。年間2回開催予定。 ・巡回通級を行い、担当校の教員だけでなく他の学校の通級担当者が参観し指導方法について検討することで、通級担当者の指導力向上を図る。 ・雄信小学校通級指導教室を新設する。 ・リーディングチームが、支援センターの行動観察に同行し、支援の必要な子どもの様子を的確に把握するための資質向上を図る。
--

点検・評価の重点項目評価調書 4

担当課 (学 力 向 上 対 策 室)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	1	確かな学力の定着と豊かな心を育成する
施策項目	3	全ての子どもの学びと育ちの支援
泉南っ子 日本一宣言		あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
		チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
		あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
		安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
		海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
様々な教育課題に対する支援 ・教育振興基本計画に示されためざす子ども像を実現するための「泉南っ子日本一宣言」の策定 ・保護者・地域への情報発信として、「学力向上対策室だより」を発行		
(2) 前年度までの主な課題		
・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査における「自分には、良いところがあると思う」の肯定的回答割合が小学校では全国・大阪府の数値よりも下回り、中学校では全国の数値よりも下回る。 R4 小学校 全国：79.3%、府：78.3%、市：75.8%、 中学校 全国：78.5%、府：75.2%、市：77.9%		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
・全小中学校の児童会・生徒会意見をまとめ、泉南市がめざす子どもの姿を自分たちの言葉で表した「泉南っ子日本一宣言」を策定した。 ・年間で10号の「学力向上対策室だより」を発行し、教育委員会や学校で取り組んでいることや子どもの活躍、家庭における子どもへのかかわり方など、情報発信による啓発をおこなった。						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2～4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	小学校：「自分には、良いところがあると思う」の肯定的回答割合	%	76	83	85	97.65%
指標	中学校：「自分には、良いところがあると思う」の肯定的回答割合	%	78	70	85	82.12%
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	-	千円	-	-	-	-
事務事業費		千円				
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会が各小学校児童会の意見を集約し、4中学校区の意見をまとめ、子どもたち自身の言葉で宣言を作成した。 令和5(2023)年7月より、毎月1号以上の「学力向上対策室だより」を発行することで、積極的な情報発信を行うことができた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 「泉南っ子日本一宣言」の策定が令和5(2023)年12月であったため、その後の各校での取組推進について十分な時間を取ることができなかった。 「学力向上対策室だより」の発行が市ウェブサイトと学校からの保護者配信メールのみであったため、保護者の認知が不十分であった。 	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> 「泉南っ子日本一宣言」については、子どもたちにわかりやすい言葉で子どもたち自身が作ったということは評価できる。 「泉南っ子日本一宣言」を作って終わりにならないよう、子どもたちが意識できるような働きかけを考えてほしい。 予算の増額なども検討し、より一層の家庭や地域への発信、周知を行っていただきたい。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが日本一宣言を具現化していくことができるよう、各校での取組推進を働きかける。 日本一宣言の取組に関連付けた自尊感情を高める取組みを検討する。 保護者・地域への情報発信の継続と、一層の広報を検討する。
--

点検・評価の重点項目評価調書 5

1. 基本的事項 【PLAN】

担当課 (人権国際教育課)

基本方針	1	確かな学力の定着と豊かな心を育成する
施策項目	4	国際交流と外国語教育の推進
泉南っ子 日本一宣言	○	あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
	○	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
	○	あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
		安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
	○	海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが今後のグローバル社会に対応し、多様な文化に触れながら豊かな心を育むことができるよう、就学前の段階から積極的に国際交流を推進する。 ・小・中学校では、国際交流を継続しつつ、外国語教育の質を高めて語学力やコミュニケーション能力の向上を目指す施策を推進する。 ・市民との国際交流活動を実施し、市民が多様な文化に触れる機会をつくる。 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で行われる言語活動の割合が低いため、4技能(話す、書く、読む、聞く)を統合的に指導するように指導助言を行う必要がある。 ・様々な国から受け入れている中、円滑に事業を進めていることは評価できる。 ・国際交流活動の認知度・満足度に加え、活動内容の充実がより求められる。 ・翻訳通訳業務のニーズがあるため継続的な取組が求められるが、職員の負担軽減を講じるなど、早急な体制づくりを進める必要がある。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
【ALT(外国語指導助手)】						
<ul style="list-style-type: none"> ・市内全14小中学校においてJET-ALTが年間を通して外国語・英語の授業、休憩時間等の外国語活動などの取組を進めることができた。(小学校12人・中学校8人を配置) ・小学校ではALTが外国語の授業だけでなく、様々な教科に入り込み日常的に英語を使用する機会を作った。 ・市内の他校での外国語・英語の授業をALTが相互に見学する研修を実施。 						
【CIR(国際交流員)】						
<ul style="list-style-type: none"> ・外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や、市役所の書類の翻訳(英語・スペイン語・中国語・フィリピン語)を行った。また、学校での配付物の各種言語への翻訳を実施。(年間184回) ・保護者研修で講師として自国の文化についての紹介を実施。(年間3回) ・学校等での国際交流活動として読み聞かせ・自国の文化紹介やクイズを実施。(年間334回) 						
【JET全体で】						
<ul style="list-style-type: none"> ・9月9日(土)にJETメンバーが企画運営した第1回JETまつりを実施。JETメンバーが自分が泉南市民に伝えたい自国の文化についての紹介をブース形式で行い、同時に、舞台では子どもたちが楽しめるものを発表した。(市民参加者250名程度) 						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	英検3級相当以上の英語力がある中学3年生の生徒割合	%	10.7	51.6	30	172%
指標	児童生徒の国際交流後の満足度	%	-	95.2	90	106%
指標	児童生徒のALT配置による外国語授業満足度	%	77.5	89.8	85	106%
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	JETプログラム事業	千円	27,514	18,356	17,977	26,523
事務事業費		千円				
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
<p>・令和5年度は、中学校区で外国語教育の系統性(つけたい力)の整理を行い、校区共通の目標をつくることができた。その達成に向けて、ALTを活用した授業づくりに今後ますます力を入れていく必要がある。</p> <p>・ALTが相互授業見学を行ったことにより、自分とは違う個性を発揮しているALTの姿を見ることができて、ALT同士でお互いにいい学びができた。次年度以降も、継続的にこの取組を実施していくことで、外国語・英語の授業の質を高めていきたい。</p> <p>・CIRの国際交流活動は就学前から中学校まで、年間を通して様々な学校園で実施することができた。(参考資料参照)児童生徒の満足度も95%を超えているので、今後もさらに充実した国際交流活動になるよう、学校園と連携していきたい。</p> <p>・9月に実施したJETまつりでは、年間を通して交流をしている学校園の子どもだけでなく、幅広い年代の大人も参加してくれた。泉南市民にCIRが認知されてきていることを実感できる取組となった。アンケートを実施することができなかったため、次年度以降は参加者の声を集めていきたい。</p>	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	
A	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<p>・泉南市が実施しているJETプログラム事業は素晴らしい事業なので、国際都市、英語教育の取組を実施しているまちとして、もっと発信してもらいたい。</p> <p>・市内全14小中学校にJETプログラムメンバーを配置できているため、継続して取組を進めていただきたい。</p> <p>・英検3級相当以上の中学3年生生徒割合が51.6%というのは、高い数値だと思っている。今後もどんどん子どもたちの英語力を伸ばしてもらいたい。</p>	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<p>・JETプログラム事業でどのような取組を実施しているかを、市のウェブサイトや広報せんなん、市の公式SNS等を通じて情報発信するとともに、様々な取組後には参加者等にアンケートを実施し、市民や子どものニーズを把握していく。</p> <p>・ALTを活用した授業づくりや、各中学校区で作成した外国語教育の系統性にもとづいた小中一貫教育を進めることで、子どもたちの英語力の向上に努めていく。</p>
--

点検・評価の重点項目評価調書 6

担当課 (指 導 課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	1	確かな学力の定着と豊かな心を育成する
施策項目	5	子育て・子育て支援の充実、強化
泉南っ子 日本一宣言		あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
		チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
		あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
		安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
		海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<p>安心安全な保育環境を守る人的配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な子どもへの人的配置及び育ちの保障 一人ひとりが尊重し合うクラス集団づくり ・互いのよさや違いを認め合い、仲間を大切にす気持ちや相手のことを思い行動できる力を育てる <p>保育教育の質を高める研究活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の特性を理解し、個々の状態等に応じた支援方法を学ぶ 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心、安全に園生活を送るために適切な支援加配教員数を引き続き配置する。 ・支援対象児が増加傾向にあるため、支援教育コーディネーターが中心となり、支援加配教員が支援方法を学ぶ機会を継続してもつ。 ・経験年数の浅い職員が増えていることで、子どもへのかかわりや保護者対応が課題となっている。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
支援加配教員の配置						
R2	支援対象児79名(全園児数338名)	23.4%	支援加配教員数	20.6人		
R3	支援対象児74名(全園児数304名)	24.3%	支援加配教員数	20.8人		
R4	支援対象児71名(全園児数285名)	24.9%	支援加配教員数	20.8人		
R5	支援対象児69名(全園児数274名)	25.2%	支援加配教員数	17.9人		
<ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導については、専門機関と指導課指導主事が各園を訪問し、学期に1回程度、支援が必要な子どもへのかかわりについて、指導助言を行っている。 ・支援コーディネーターを中心とした定期的な支援会議の開催 ・支援加配教員としてのスキルアップを図るための研修への参加 						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	(第3次泉南市教育振興基本計画で指標の記載なし)					
指標						
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	学校園管理運営事業	千円	22,592	17,707	22,743	22,083
事務事業費		千円				
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A ・ B ・ C)	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(2) 取組の主な成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望と子どもの実態及び専門家による判定に基づき、集団生活を送る上で個別の支援や配慮が必要な子どもに対する支援加配教員を配置した。 ・専門機関との連携をはかり、子どもや保護者が安心して園生活を送れるよう努めている。 ・巡回指導において、専門機関と指導主事が各園を訪問し、支援が必要な子どもへのかかわりについて、指導助言を行い一人一人の発達や育ちの保障を行った。 ・支援教育コーディネーターが中心となり、学期に1回程度、支援教育にスポットをあてた研究保育を実施し、支援方法の振り返りや今後の方向性を検討し、職員間で共通理解をしている。 ・各園において支援担当者会議を開催し、具体的なかかわり方や支援方法を共通理解する等、支援加配教員としてのスキルアップを図っている。 ・経験年数の浅い職員が増えていることで、子どもへのかかわり等、保育技術のスキルアップが課題である。 	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A ・ B ・ C)	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度からの課題である「経験年数の浅い職員が増えることで子どもへのかかわりや保護者対応」について、引き続き課題解消の取組をすすめていただきたい。 ・子どもの数が減少しているが、支援教育へのニーズが高くなってきている現状があり、加配教員数を減らさないように、公的機関としての役割を果たしてほしい。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心、安全に園生活を送る為の適切な支援加配教員の配置を行う。 ・個別の支援計画や指導計画に基づき、ひとりひとりの発達に応じた目標、課題を明確にし、目標達成に向け、具体的なかかわりや支援方法を考える。 ・支援教育コーディネーターを中心とした支援加配教員対象の研修を計画的に実施する。また、支援教育にスポットをあてた園内研修を実施し、写真等の映像を使い、具体的なかかわり方や支援方法を学び、共通理解を図る。 ・家庭や専門機関と連携し、子どもの特性にあった支援や生活習慣の自立をすすめていく。また、支援対象児への支援方法や発達段階に応じたかかわり、視覚支援教材の作成等、支援加配教員としてのスキルアップを図ると共に子どもが安心して生活できるよう努める。

点検・評価の重点項目評価調書 7

担当課 (指 導 課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	2	学びを支える教育基盤を整える
施策項目	2	教職員の資質・能力の向上
泉南っ子 日本一宣言	○	あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
	○	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
	○	あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
	○	安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
	○	海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の質を高める研究と修養が可能な職場環境づくりの支援 ・働き方改革を考慮してICTを活用した研修の充実 ・外部人材を活用した教職員研修の充実 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育にかかわる教職員としての一般的・総合的な資質能力の向上のみならず、泉南市の特徴や独自の課題に対応できる資質能力の向上に向けた取組が求められる。 ・コロナ禍の制限もなくなっていく中で、共に体験して学んでいく研修、参加型のもの等研修内容の充実を図っていくことが求められる。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<p>学校教育アドバイザーによる学校訪問型研修 (1) 各校を定期的に訪問し、生徒指導の観点や学習指導の観点で学校長等を中心に年間のべ181回の指導助言を実施。 (2) 講師や経験年数の浅い教員の授業観察を行い、直接的・個別的に年間のべ394人の指導助言を実施。</p> <p>教職員研修の実施 「令和の日本型学校教育」を担う教師として、「学び続ける」教職員を組織的・継続的に育成するため、各学校園の実態に応じて、外部人材を活用した研修を実施。 (各学校平均3回/年間、各園平均5回/年間)</p> <p>市内教職員研修の実施 泉南市の特徴や独自の課題に対応できる資質能力の向上に向け、教職員に義務教育9年間を見据えた小中一貫教育を効果的、効率的に進めることができるよう研修を実施。 講演「泉南市の教育と小中一貫教育」講師：初田幸隆氏(京都市教育委員会事務局 参与)</p>						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	外部人材による研修の実施回数(各学校園ごと)	(回/年)	3	3	8	
指標	全国学力学習状況調査児童生徒質問紙「授業の内容がわかる」と回答する児童生徒の割合	%	小: 81.3 中: 78.9	小: 83.5 中: 75.4	小: 90.0 中: 85.5	
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	教育推進事業	千円	112,615	102,101	100,611	131,954
事務事業費		千円				
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
<p>学校教育アドバイザーによる学校訪問型研修 各校を定期的に訪問し、生徒指導の観点や学習指導の観点で学校長等を中心に指導助言を行った。また、講師や経験年数の浅い教員の授業観察を行い、直接的・個別的に指導助言を行った。さらに、「教師力向上セミナー」として、各校園の経験の浅い教員（主として講師）を対象に年間4回のオンライン研修を実施した。</p> <p>教職員研修の実施 「令和の日本型学校教育」を担う教師として、「学び続ける」教職員を組織的・継続的に育成するため、各校園の実態に応じて、外部人材を活用した研修を実施した。【各小中学校約3回/年・各幼稚園約5回/年】 (小中内訳) 授業づくり(全般26回・教科指導9回)・支援教育4回・人権教育2回 (幼稚園内訳) 保育授業づくり9回・子育て支援1回 約180名の市内校園の教職員が集合型・リアルタイムオンライン研修のハイブリッド型研修の実施 泉南市の特徴や独自の課題として、「泉南市の教育と小中一貫教育」講演を実施。参加者の約90%から肯定的回答を得られた。</p>	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上、教科指導力の向上だけではなく、社会や教育現場の変革に向き合うことができる資質・能力を備えた教職員の育成をしていただきたい。 ・教職員の方々がどのように資質の向上を行い、それによってどんな能力が高まっていく、もしくは必要になっていくのかということを検証していただきたい。 ・「泉南っ子日本一宣言」でのめざす子ども像を育てる教職員として、どのような教職員像が求められているかということが非常に重要になってくる。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育にかかわる教職員としての一般的な資質能力の向上のみならず、「泉南っ子日本一宣言」での目指す子ども像のように、「泉南っ子」の実態に即した教員としてかかわることができるような資質能力の向上に向けた研修等を推進していく。 ・計画的な研修の実施に加え、各校の実態に応じた日常的なOJTを推進することにより、教職員全体の指導力の向上につとめ、学校全体でチームとして取組む。

点検・評価の重点項目評価調書 8

担当課 (教 育 総 務 課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	3	安全・安心な教育環境を整備する
施策項目	2	泉南市立小中学校再編計画の推進と開かれた学校づくり
泉南っ子 日本一宣言		あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
		チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
		あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
		安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
		海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)西信達義務教育学校等の整備 ・小中一貫教育の推進に向け学校再編計画の内容周知、(仮称)西信達義務教育学校の建築検討を行い、施設を整備する。 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・泉南市立小中学校再編計画の実現に向け、災害時の避難所でもある小中学校施設の老朽化対策に取り組む、早急に児童生徒及び地域住民の安全確保に努める。 ・学校再編を行う場合に必要となる予算の検証及び予算確保のための取組を進める。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
(仮称)西信達義務教育学校基本計画策定及び民間活力導入可能性検討業務等を実施 1. 地域住民アンケート ・調査期間：令和5年7月5日から令和5年7月28日まで ・1,037世帯配布、339件回収、回収率32.7% ・令和5年10月5日公表 2. 地域住民ワークショップ ・実施時期：令和5年8月から令和5年9月まで ・実施回数：3回、延べ42人参加 ・ワークショップ瓦版発行：3回 3. 泉南市学校施設検討委員会 ・開催時期：令和5年11月から令和6年2月まで ・開催回数：3回 4. 学校基本計画及び民間活力導入可能性検討業務報告書作成						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	小中一貫校整備校数	施設	0	0	1	0.00%
指標						
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	小中一貫教育推進事業	千円	-	-	26,117	27,061
事務事業費						
事務事業費						

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A ・ B ・ C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい義務教育学校の目指す姿(コンセプト)や学校に必要な教室・機能等、地域住民と学校の関わり方などについて、西信達地区住民の意見を確認することができた。 ・泉南市学校施設検討委員会を開催し、地域住民からの意見を精査し、義務教育学校の目指す姿(コンセプト)作成し、今後の児童生徒数の推移などを整理し、学校に必要な教室や複合化について審議を行った。 ・(仮称)西信達義務教育学校の基本計画及び民間活力導入可能性検討業務報告書を作成した。 ・建築費が高騰する中、事業費の抑制、財源の確保、実施事業者の募集に向け精査し、事業を進めていく必要がある。 	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A ・ B ・ C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数が減少し、事業費が高騰しているためこれからの児童生徒数と財政状況を踏まえて、今後の再編計画スケジュールを精査してもらいたい。 ・非常に大きな事業であるため財政的に大変であるが、まずは(仮称)西信達義務教育学校の整備を進めてもらいたい。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員や多機能施設担当の意向を確認し、予算状況を踏まえ施設や設備の整備内容を精査した上で、(仮称)西信達義務教育学校等整備事業者の募集を行う。 ・(仮称)西信達義務教育学校等整備事業者選定委員会を設置し、募集、選定基準の決定、提案内容の審査及び事業者の選定を行う。 ・市議会の議決を経て、整備事業者と契約を締結し、(仮称)西信達義務教育学校等の整備を進める。
--

点検・評価の重点項目評価調書 9

担当課 (教 育 総 務 課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	3	安全・安心な教育環境を整備する
施策項目	4	安全で快適な教育環境の整備
泉南っ子 日本一宣言		あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
		チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
		あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
		安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
		海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園施設及び小中学校施設の充実と適切な保全維持 ・学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事を行う。また、工事に向けた実施設計などを行う。 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校及び幼稚園の安全性及び快適性の確保は極めて重要な課題。 ・施設の老朽化が進んでいる。また、突発的な対応もあり大変であるが、安全確保のため、優先順位付けと予算確保が必要。 ・施設や設備は、計画的な補修や更新計画の作成などを行い、破損や故障を未然に防ぐ取組が必要。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<p>1. 学校施設等修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕件数：小学校86件、中学校50件、幼稚園9件 ・主な内容：給水管、床、天井、屋根、トイレ、照明、電気錠、エアコン、防火シャッター危険防止装置、消防設備、エレベーター、フェンスなどの修繕 <p>2. 机天板交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交換枚数：419枚 ・実施校数：2校（東小学校、砂川小学校） <p>3. 工事設計委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校空調設備工事設計委託：10校 ・トイレ改修工事設計委託：1校（東小学校） <p>4. 改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東小学校体育館屋根塗装改修工事 ・一丘中学校校舎外壁改修工事 <p>5. LED照明器具借上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校数：13校園 						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2～4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	照明LED化が完了した市立小中学校園	施設	1	14	16	87.50%
指標						
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	小学校施設保全整備事業	千円	127,836	79,232	41,113	255,496
事務事業費	中学校施設保全整備事業	千円	15,570	23,406	43,260	107,687
事務事業費	幼稚園施設保全整備事業	千円	3,622	1,675	4,111	3,398

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A ・ B ・ C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(2) 取組の主な成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事、設計業務などを行った。 ・机天板交換は、現行の机より大きな天板サイズに交換することで教育環境の向上につなげることができた。今後は、全児童の交換に向け事業を継続する必要がある。 ・工事設計は、予知していた内容を完了することができたため、次年度予算を確保し業務を実施する。 ・体育館屋根塗装改修工事及び校舎外壁改修工事、予定していた工事を完了することができた。 ・LED照明器具借上は、予定していた13施設の照明をLED照明に更新することができた。 	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A ・ B ・ C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で優先順位をつけて進められている。 ・空調未設置の特別教室の空調設備設置に向け取組を進められたい。 ・学校の屋内運動場は、夏季における熱中症対策、避難所となる施設のため空調設備の設置に向け予算の確保に努められたい。 ・照明器具のLED化はリース契約とすることで各学校園一斉に整備することができ、工夫して取組んでいる。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備未設置の特別教室について、令和6年度に整備を行う。 ・屋内運動場の空調設備設置については、令和6年度に実施設計を行い、令和7年度に整備を予定し進めていく。 ・施設の老朽化状況を確認し、子どもの安全性と快適性を確保するため、適切な維持管理及び保全に努める。 ・大規模な改修工事については、優先的に保全・修繕を行う施設を精査した上で、適切な予算確保に努める。

点検・評価の重点項目評価調書 10

担当課 (文化 振 興 課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	4	生涯学習を推進する
施策項目	2	社会教育の充実
泉南っ子 日本一宣言		あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
	○	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
		あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
		安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
		海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報拠点としての公民館の充実 講座等自主事業実施、貸館事業、建物の維持管理業務、クラブ協議会等利用団体の育成、支援等を行うことで、多様で自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点を提供すると同時に、市民による自主的な文化・芸術活動の高揚を図る。 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍によるクラブ活動の制限、公民館まつりの中止による活動成果発表の場の減少及びクラブ員の高齢化による会員数減少。 ・施設の老朽化による修繕等への対応 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<p>(R6.3末時点の人口58,527人)</p> <p>1. 年間利用者数 樽井 (10,493人) ・ 信達 (9,291人) ・ 新家 (13,114人) ・ 西信達 (3,706人) : 計36,604人</p> <p>2. 年間利用件数 樽井 (698件) ・ 信達 (1,006件) ・ 新家 (1,213件) ・ 西信達 (510件) : 計3,427件</p> <p>3. 登録クラブ数 樽井 (16団体) ・ 信達 (35団体) ・ 新家 (33団体) ・ 西信達 (10団体) : 計94団体</p> <p>4. 公民館における文化活動、自主事業等の開催回数 : 9回</p> <p>5. 自習室開設実績及び参加人数 夏期 : 7/21 ~ 8/24 ・ 開設日数 : 29日 ・ 利用者合計16人 春期 : 3/23 ~ 4/7 ・ 開設日数 : 14日 ・ 利用者合計4人</p> <p>6. 消防避難訓練開催実績及び参加人数 樽井 (6/24 : 26人 ・ 12/10 : 29人) ・ 信達 (6/25 : 33人 ・ 12/10 : 31人) ・ 新家 (7/2 : 29人 ・ 12/9 : 43人) ・ 西信達 (6/24 : 17人 ・ 12/9 : 43人) : 計222人</p>						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	人口一人当たりの公民館の年間利用回数	回	0.45	0.63	0.50	126.0%
指標						
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	公民館運営事業	千円	12,699	13,132	13,321	19,862
事務事業費	講座開催事業	千円	0	36	38	0
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進を行った。特に、樽井公民館において照明器具すべてをLED化を行う一方、その他については、予算の範囲内で緊急性の高いものから修繕等を順次行った。中長期的な施設のあり方としては、西信達公民館は(仮称)西信達義務教育学校整備に伴い、公民館機能施設として複合化を目指す。その他の3館については、令和6度を実施する、公共施設再編検討に係る施設調査の結果も踏まえて、令和7年度以降の在り方を検討を行う。 ・国による新型コロナウイルス感染症の位置付けが、2類相当から5類への移行に伴い、各部屋の定員制限等を完全に撤廃した。 ・クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供した。特に、公民館まつりについては、コロナ禍以降、3館すべてで通常の形で開催することができ、自主的な文化・芸術活動を支援した。 ・同時に講座等自主事業実施にあたっては、広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動により、文化・芸術活動の高揚を図った。 ・各公民館にあるクラブ連絡協議会等を事務局として規約の改正等の支援、協力を行うことで、自主的な文化・芸術活動を支援した。一方、クラブ員の高齢化、コロナ禍後の会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退に対し、事務局としてどのように対処し、支援の方策を検討する必要がある。 	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ連絡協議会等の規約を改正するなど、加盟するクラブの減少を一定食い止めることができるよう柔軟な対応ができたことは評価する。 ・今後、公民館を複合施設化した場合、小学生、中学生との交流などを通して、活動するクラブ員の高齢化やクラブ員数の減少などに対処していただきたい。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、クラブ連絡協議会等の公民館利用団体を育成、支援する。特にクラブ員の高齢化、会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退に対して、負担軽減などの方策を示し、再加盟、クラブ員の増加を手助けする。 ・幅広い世代が交流できるような公民館まつり等、クラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供する。 ・自主事業においては親子が触れ合いつつ学べる講座等を開催するとともに、令和5年度から再開した自習室開設業務を拡充することで、子どもたちの自主学習の場と居場所を提供する。
--

点検・評価の重点項目評価調書 11

担当課 (生涯学習課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	4	生涯学習を推進する
施策項目	3	スポーツ活動の推進
泉南っ子 日本一宣言	○	あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
	○	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
		あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
		安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
		海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 具体的施策 (施策の概要)		
<p>○「ワールドマスターズゲームズ2027関西」において、泉南市で実施するオープンウォータースイミング大会開催に向けた準備及び機運醸成のためのオープンウォータースイミング大会を開催する。</p> <p>○市民のだれもがスポーツに親しむことができる環境づくりのために、指定管理により適切な市民体育館等の運営を行う。</p> <p>○国際的及び全国的規模の競技会等に出場等する本市の子どもに泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金等を交付することにより、スポーツ活動の推進、競技力の向上及び文化芸術の振興を図るとともに、市全体のスポーツと文化芸術に関する機運を醸成する。</p>		
(2) 前年度までの主な課題		
<p>○新型コロナウイルス感染症対策が必要であったが、感染症対策に努め開催されている。今後も安全で安心して参加できる運営を進めていく。</p> <p>○参加者数が減少している競技があるため、参加者確保の取組を行うことが必要である。</p> <p>○引き続き、施設の老朽化への対策を講じる必要がある。</p>		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<p>○ワールドマスターズゲームズ関西・オープンウォーター競技大会開催事業では、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の開催に向けての機運醸成のため、令和5年10月1日に泉南オープンウォータースイミング大会2023を開催。</p> <p>(令和5年度実績) 参加申込数327名 当日参加者301名</p> <p>○誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりのために、指定管理者により施設の運営に加え、各種スポーツ教室やイベントを実施した。また、アンケート調査により利用者ニーズの把握に努めた。</p> <p>○泉南っ子応援事業では、全国大会等に出場・出展する本市の子どもに泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金を交付した。</p> <p>(令和5年度実績) 個人-全国 26件 団体-全国 3件</p>						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	オープンウォータースイミング大会の参加者数	人	111	301	900	33%
指標	市民体育館利用者数	人	22,381	40,332	37,000	109%
指標	泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金交付件数	件		29	20	145%
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	オープンウォーター競技大会開催事業	千円	10,680	5,000	2,000	4,517
事務事業費	市民体育館等指定管理事業	千円	36,688	36,701	32,913	34,700
事務事業費	泉南っ子応援事業	千円			1,600	4,000

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
<p>○令和5年度から本大会が日本水泳連盟公認の大会となり、国内オープンウォータースイミングサーキットシリーズの会場として組み入れられることとなった。その効果もあり、参加者は前年と比較して1.5倍に増加することとなった。その一方で、大会の観覧者は参加者の家族などが中心であり、大会自体の盛り上がりには欠けることは否めない。</p> <p>○市民体育館指定管理事業では、施設の老朽化により市民から様々な要望も出ている。安全面等を考慮し、優先順位の高いものから順次修繕を実施していく必要がある。</p> <p>○泉南っ子応援事業では、事業実施初年度ということもあり、市民への周知が十分ではない様子が見受けられた。一方、交付件数は目標値を大きく上回り、一定の成果はあったものとみられる。今後は広報や市ウェブサイト等を活用し、一層の周知を図る必要がある。</p>	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・泉南っ子応援事業について、とてもいい事業なので広く周知していただきたい。 ・ワールドマスターズゲームズについては、関連する他団体等と協働して行うことも検討していただきたい。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・令和9(2027)年5月開催予定のワールドマスターズゲームズ(WMG)2027関西に向け、一般社団法人泉南スポーツコミッション協会(SSCA)を中心に、泉南オープンウォータースイミング2024大会を令和6(2024)年10月6日に開催し、今後も継続して開催し、にぎわいづくりも併せて行うことで、機運の醸成につなげる。 ・市民体育館等については、引き続き指定管理者と連携し、適切な運営を行うとともに、誰もがスポーツに親しむことのできるイベント等の実施を促進する。 ・泉南っ子応援事業は、令和6年度からオリンピック・パラリンピック出場枠を拡充する。また、市公式SNS等で周知を図り、泉南市のスポーツ活動と文化芸術の発展につなげる。
--

点検・評価の重点項目評価調書 12

担当課 (生涯学習課青少年センター)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	4	生涯学習を推進する
施策項目	4	青少年の健全育成
泉南っ子 日本一宣言	○	あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
	○	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
	○	あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
	○	安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
	○	海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<ul style="list-style-type: none"> 講座やイベントの実施 青少年の健全育成のため、地域団体やボランティアと連携し、さまざまな体験活動ができるよう講座やイベントを実施する。 子どもの自主活動の推進 泉南市子どもの権利条例に基づき、青少年センターの運営に子ども自身が意見を表明できるよう「みんな仲よし会議」と題した会議を開催するとともに、子どものつぶやきから始まった「こどもスタッフ」を組織し運営する。さらに子ども会議と連携を行う等子どもの自主活動を推進する。 YouTube動画の配信 YouTube動画配信業務を減らし、講座等の申し込みの利便性を向上するためスマート申請業務を導入する。 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズをしっかりと把握し、市民の期待に応えられる取組を充実させることが求められる。 YouTube動画配信はコロナ禍での取組のため、その業務を切り替えて、子どもたちの参加が容易になるようスマート申請事業を導入し、関心を高める案内内容を施して申し込みの利便性を向上させる。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<p>1. 講座やイベントの実施 「走り方教室」「ダッチオープン料理を楽しもう」「冬山探検隊(金剛登山)」「こくさいクッキング」「オリジナルカップヌードルをつくろう」「動物園を知ろう」等延べ37回の事業を実施し、892名の参加があった。</p> <p>2. 子どもの自主活動の推進 みんな仲よし会議 6/10、7/22に開催 24名の参加 せんなん子ども会議 11回開催 313名参加 こどもスタッフ企画として「ブラバン大会」「ハロウィンイベント」「クリスマスイベント」「コマ回し大会」を開催 197名参加</p> <p>3. YouTube動画の配信 青少年センター公式チャンネルを開設し動画を再配信</p>						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	講座参加者数	人	760	886	900	98.44%
指標	自主活動参加者数	人	500	637	650	98.00%
指標	YouTube延べ視聴回数	人	145	211	1,000	21.10%
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	青少年センター運営事業	千円	1,119	1,906	1,817	1,696
事務事業費		千円				
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自主的活動をより推進していくために、本市子どもの権利条例前文、第6条、第7条等に則り作成した「青少年センター子どもの関わり方基本スタンス」を職員間で共有し、知見・理解を深めた。 ・令和5年度は、予定、計画していた講座等については全て実施することができた。講座終了後のアンケート結果や「みんな仲よし会議」で出された意見から始まった講座も多く実施することができた。リニューアルイベント、ハロウィンイベント、クリスマスイベントは総じて子どもたちが主体となっていた。 ・YouTube動画配信については、今後LINE等で情報発信していくため、青少年センター公式チャンネルを開設し動画を再配信とした。講座等の事業内容をわかりやすく案内してスマート申請業務を導入し申し込みの利便性を向上させた。 	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターは様々な講座等を実施しており子どもの自主的活動等の推進に取り組んでいる。 ・限られた予算の中で工夫を凝らして企画している。また、参加者の費用負担についても考慮されている。 ・今後も子どもの主体性やニーズを把握し、講座やイベントを行っていただきたい。 ・YouTubeはコロナ禍での取組であった。継続実施は可能だと思うが、動画製作には職員数や作成時間に限りがあるため、子どもたちが参加できる事業を優先に実施することが求められる。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・催事実施時のアンケート結果や「みんな仲よし会議」「こどもスタッフ」で出された意見を踏まえ、子どもたちのニーズを把握し、催事等を実施していく。 ・青少年健全育成のため地域団体やボランティアと連携して、様々な知識の習得や体験ができるよう安全安心な事業を実施していく。 ・YouTube動画の配信は、みんな仲よし(青少年センター)公式LINEの情報発信へと比重を置きつつ、広報活動はみんな仲よし通信や市ウェブサイトの掲載内容の充実を図り、スマート申請により参加申し込みの利便性等の向上に努めていく。

点検・評価の重点項目評価調書 13

担当課 (生涯学習課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	4	生涯学習を推進する
施策項目	5	子どもの居場所づくりの推進
泉南っ子 日本一宣言		あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
		チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
	○	あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
	○	安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
	○	海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<p>【留守家庭児童会の運営】 放課後や学校休業期間の日中、労働等により保護者等が家庭にいない児童に対して、衛生及び安全が確保された専用施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供することにより、子どもたちの健全育成、自立支援及び子育て支援を図ることを目的として実施する。 市内9小学校内の10か所で開設。</p>		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・留守家庭児童会支援員のスキルアップ及び人権意識向上のため、継続した研修の実施が必要である。 ・引き続き、施設の老朽化対策及び快適な空間の確保に努める。 ・待機児童解消のための施策を実施・検討する。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<p>学校稼業日は、下校後から17:00(延長18:00または19:00)まで、土曜日及び学校長期休業期間中は、9:00(延長8:00)から17:00(延長18:00または19:00)まで留守家庭児童会を開所し、児童の適切な遊びや生活の場となるよう支援を行った。(開所日数293日)</p> <p>(1) 留守家庭児童会の支援員等にスキルアップ及び人権意識向上のための研修を実施した。 資質向上研修 2回 参加者数(延べ)79名 人権研修 参加者数 19名 放課後児童支援員認定資格研修所持率 72.7%</p> <p>(2) 留守家庭児童会施設の適切な維持保全を行った。 信達・樽井第一留守家庭児童会空調入替 2,582,800円 西信達留守家庭児童会遠隔施設システム 213,180円 その他、軽微な修繕等も実施</p> <p>(3) 避難訓練・不審者訓練の実施(2回) (4) 待機児童解消の為、信達小学校と空き教室活用に向けての協議を行った。</p>						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	(第3次泉南市教育振興基本計画で指標の記載なし)					
指標						
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	留守家庭児童会運営事業	千円	7,882	12,201	17,618	28,957
事務事業費		千円				
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(2) 取組の主な成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の適切な維持、修繕を行うことで安全・安心な環境を提供できた。 ・留守家庭児童会を開所し、留守家庭児童会支援員等が支援することで、利用児童に適切な遊びや生活の場を提供できたとともに、利用児童の保護者が安心して働くための一助となった。 ・留守家庭児童会支援員等に「児童クラブの安全性と安全管理」「発達に特性を持つ子ども支援を学ぶ」研修を実施することで、自身の業務を再認識するとともに、適切な支援のためのスキルアップにつながった。また、人権研修として「子どもの権利を学び、子どもの声を聴く」研修を実施した。令和6年度以降も継続して実施していく。 ・待機児童解消の為、信達第二留守家庭児童会開設に向けて協議を開始した。令和6年度以降も予算要求や工事担当課との調整を順次実施し、令和9年度開設を目標に引き続き準備を進めていく。 	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度より早く待機児童の解消ができたということだが、これからも早期の待機児童解消に努めていただきたい。 ・共働き世帯の増加等に伴い、留守家庭児童会を利用する児童が多くなることが予想される。東小学校等の新規留守家庭児童会の開設についても今後検討していただきたい。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員の資質向上研修を継続して行う。また、人権意識向上のため計画的に職員研修を実施する。 ・施設・設備の老朽化について、今後も適切な管理修繕を行い、安全・安心な事業の実施に努める。 ・信達第二・東留守家庭児童会開設に向けて、継続して関係部局・小学校等と協議等を進める。

点検・評価の重点項目評価調書 14

担当課 (生涯学習課青少年センター)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	4	生涯学習を推進する
施策項目	5	子どもの居場所づくりの推進
泉南っ子 日本一宣言	○	あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
	○	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
	○	あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
	○	安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
	○	海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども元気広場の実施 子どもの安全で安心な居場所づくりのため、平日の放課後や土曜日においては青少年センター、市民交流センターで「子ども元気広場」(児童館事業)を実施する。また、平日放課後においては市内小学校に出向き「遊び広場」を実施する。 ・夏休みの子どもの居場所づくり事業の実施 学校が長期休業となる夏休みの子どもの安全・安心な居場所を提供するため、日常ではなかなか体験できない実験講座や図書館、埋蔵文化財センター、人権国際教育課とタイアップした「子ども遊び広場」を実施する。 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども元気広場への認知度、参加者の増加を評価いただいた。 ・参加者増加に伴い、子どもたちの遊びのニーズや特性等が多岐にわたってきている。安全見守り等のため民生委員児童委員と連携している。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども元気広場事業の実施 青少年センター、市民交流センターで子ども元気広場事業(児童館事業)を実施した。 実施回数：青少年センター288回、市民交流センター287回 参加延べ人数：青少年センター6,058人、市民交流センター2,343人 ・遊び広場の実施 市内全10小学校で遊び広場を実施した。 実施回数：73回 参加延べ人数：4,110人 ・夏休み子ども遊び広場の実施 市内全10小学校で夏休み子ども遊び広場を実施した。 実施回数：10回 参加延べ人数：263人 						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	子ども元気広場参加者満足度	%		99.2	90.0	110.22%
指標	夏休み子ども居場所づくり事業参加者満足度	%	96.0	95.0	90.0	105.56%
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	青少年センター運営事業	千円	1,119	1,906	1,817	1,696
事務事業費	子どもの居場所づくり事業	千円	370	828	608	1,038
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(2) 取組の主な成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は気象警報発令による閉館以外、青少年センター及び市民交流センターで行っている元気広場事業は予定通り提供することができた。広報せんなんや館だよりによる居場所の周知の他、利用者案内(パンフレット)を一部改訂し、地図をいれることによりフォーラム等で周知することができた。また民生委員児童委員の方々と連携し安全見守りに配慮した。 ・市内全ての小学校で放課後の遊び広場と夏休み期間を利用した「夏休み子ども遊び広場」を実施し、子どもたちに豊かな学びを提供できた。 ・毎週水曜日には、子育て支援センターや地域のボランティア団体と連携し、就学前児童とその保護者向けの居場所事業を実施し、子育て中の保護者同士のつながりをつくる場の提供を行った。 ・夏休み子ども遊び広場については令和3年度から小学校単位での10回開催をしており、毎年認知度が向上している。引き続き事業内容を創意工夫して参加者のゆるやかな上昇を見込んでいる。 	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	
B	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども元気広場の実施は、子どもたちが安心して遊べる場所としてとても意義がる。 ・青少年センター、市民交流センター、子ども元気広場を同じ時間帯で実施しているため、子どもの見守り実施の職員配置に配慮していく必要がある。 ・各小学校で居場所事業を行っており、参加者の満足度も良いものとなっている。 ・参加者数の増加に伴い、安全面が気になるため、人員の配置等の検討をしていただきたい。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・放課後に子どもたちが子ども同士また大人との関係で、他者との関わり方や学びにつながる場所となるような環境づくりの居場所に取り組んでいく。 ・アウトリーチ型の居場所事業は地域ボランティアや保護者等とともに職員配置を助案し事業を進め、子どもの見守り活動に取り組んでいく。 ・夏休み子どもの居場所づくり事業は、熱中症等の安全対策を考慮し、実施時間帯や講座内容の充実に努め、青少年センター、埋蔵文化財センター及び図書館等と連携し満足度の高い事業を行っていく。

点検・評価の重点項目評価調書 15

担当課 (人権国際教育課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	5	市を挙げて教育施策の推進体制を確立する
施策項目	1	子どもの権利に関する条例の推進
泉南っ子 日本一宣言	○	あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
	○	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
	○	あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
	○	安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
	○	海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<p>泉南市子どもの権利に関する条例に基づき、条例の目的である「子どもにやさしいまち」の実現のための事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉南市子どもの権利に関する条例第5条「せんなん子ども会議」の運営支援及びメンバーによる運営を可能とする仕組みづくりの構築 ・泉南市子どもの権利に関する条例第8条「子どもの権利に関する学習と教育」の充実 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利学習は、毎年度各学校園での授業等で学習を行っているが、発達年齢に応じて学習内容をどのように積み上げていくのかを中学校区で検討していく必要がある。 ・日常の活動の中で子どもの意見表明と参加について、現在各学校園で取り組まれている好事例を他の学校園に発信することで、意見表明と参加の視点が学校運営にもっと入ってくるようにする必要がある。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<ul style="list-style-type: none"> ・【第5条】せんなん子ども会議の実施（毎月1回） 令和5年度は年間で10回実施し、延べ157人が参加した。 令和5年度は、海岸清掃を通して、ゴミのない過ごしやすい泉南市にするためにどんなことができるのかを考え、3月には市長報告を行った。 ・【第8条】各学校園における「子どもの権利学習」の実施 取組内容は各学校園で発達年齢に応じて実施。 (就学前) 自分の権利が守られていない、「なんでやねん！」を出し合う。4つの権利の劇を見る。 (小中学校) 子どもの権利条約にある条文を読んで、どの権利が自分にとって大切かを考える。 自分が大切にしたい権利について、考えをクラスで出し合いながら交流する。 図書室に、子どもの権利に関連のある書籍を並べ、子どもたちが学びたいときに子どもの権利に関する本を読むことができる環境を整える。 ・【第4条】子どもの意見表明と参加 児童会が中心となって、イベントを企画運営する。 学校の標準服について、児童アンケートを実施して決定する。 運動会の内容について、6年生が中心となりアイデアを出し合って決定する。 						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2~4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	子どもの権利について知っている児童生徒の割合	%	52	50	70	71%
指標	子ども会議参加者の満足度評価の肯定的回答割合	%	-	94.3	90	105%
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	子どもの権利に関する条例推進事業	千円	1,207	861	833	-
事務事業費	人権教育推進事業	千円	-	-	-	1,506
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(2) 取組の主な成果と課題	
<p>・せんなん子ども会議では、子どもたちが考えた企画(クリーンビーチプロジェクト)を11月に実施し、子ども会議以外の参加者も入った形で実施できた。実際に子どもたちが企画運営して実施した後で、よかったことと改善点も話し合った。実際に自分たちが考えたことを実行していく経験ができたことはよかった。</p> <p>・各学校園での子どもの権利学習は、子どもたちの発達年齢に応じて取組を実施できていて、子どもたちの中でも子どもの権利についての学びが積みあがっている。令和5年度は「11月の子どもの権利の日」に向けた授業・取組実施前にアンケートをとったため、令和4年度と比べて2ポイント下がったものの、半数は子どもの権利について知ってくれている。小中学校では、教材や指導案を共有しあって、中学校区で取組内容をそろえる校区も出てきている。次年度以降も好事例を全体共有していきたい。</p> <p>・各学校園で子どもの意見表明と参加の視点での取組が少しずつ広がってきている。教職員が子どもの意見表明と参加について学ぶ機会を作っていくことで、学校運営にも取り入れてもらえるようにしていきたい。</p>	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	B A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<p>・子どもの権利の日に関する取組だけでなく、普段の生活の中で子どもの権利を大切に日頃から大人が関わっていくことができるようにしてもらいたい。</p> <p>・子どもの意見表明と参加について、これからも力を入れて取り組んでもらいたい。</p> <p>・教職員が子どもたちに対して大人と同じように接していくことで、子どもたちはどんどん意見を言うようになる。学校現場でも教職員が、このような意識を持って子どもに接していってもらいたい。</p>	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<p>・泉南市子どもの権利に関する条例及び令和5年度に施行されたこども基本法にもとづき、子どもの権利を推進する取組をさらに進めていく。特に、子どもに関わる大人が「子どもの最善の利益」「子どもの意見表明と参加」を大切に日々関わっていくことができるよう、研修や指導助言等を進めていく。</p> <p>・子どもの権利に関する取組の好事例をしっかりと広めていくことができるように、情報収集と発信をしていく。</p> <p>・「子どもと大人はパートナー、対等な関係」ということを意識して様々な研修や指導助言等を行っていくことで、子どもの権利に根ざした学校となるよう努めていく。</p>

点検・評価の重点項目評価調書 16

担当課 (教育サービス課)

1. 基本的事項 【PLAN】

基本方針	5	市を挙げて教育施策の推進体制を確立する
施策項目	3	保護者の負担軽減
泉南っ子 日本一宣言	○	あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子 
	○	チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子 
	○	あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子 
	○	安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子 
	○	海のような広い心をもつ 泉南っ子 
(1) 施策の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助事業 生活保護法による要保護者に準ずる程度と認められる家庭に制度を適用し、教育費について経済的に困難を感じている保護者に対し、子どもが学校で学習するために必要な費用の一部を援助する。 		
(2) 前年度までの主な課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助制度認定率は年々増加傾向にあり、全体の約4分の1の方が必要としている制度であるため、しっかりと取り組んでいただきたい。泉南市の就学援助制度は、国や大阪府内平均と比較して高い認定率である。 ・学校給食費及び修学旅行費の支給率を令和4年度から10割に引き上げたこと、小学校入学準備金の支給時期を3月末から1月末に前倒したことは、市民ニーズに応えることができた内容であり評価できる。今後も就学援助制度継続のため予算確保に努める。 		

2. 施策の現状把握 【DO】

(1) 主な事業実績						
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度就学援助制度について（対象：市立小中学校に通う児童生徒の保護者） 4月：就学援助制度の周知（案内及び申請書の配布） 4～5月：申請受付 6～7月：認定処理 8・3月：支給処理 ・小学校入学準備金について（対象：新小学校1年生の保護者） 9月：小学校入学準備金（就学援助制度）の周知（就学時健康診断の通知に同封） 9～10月：申請受付 11月：認定処理 12月：支給処理 						
(2) 指標						
	指標名	単位	設定時 令和2～4年度	取組時点 令和5年度	目標 令和9年度	達成度
指標	(第3次泉南市教育振興基本計画で指標の記載なし)					
指標						
指標						
	事務事業名	単位	決算額			予算額
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事務事業費	小学校就学援助事業	千円	54,699	56,743	73,060	76,782
事務事業費	中学校就学援助事業	千円	24,768	32,092	41,549	48,838
事務事業費		千円				

3. 評価 【CHECK】

(1) 自己評価	
自己評価 (A・B・C)	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(2) 取組の主な成果と課題	
<p>児童生徒数は減少傾向にあるが、就学援助認定率(5月1日現在)は増加傾向にある。令和5年度の認定率も前年度より増加しており、本制度へのニーズの高さがうかがえる。</p> <p>令和5年度は、小学校入学準備金の支給時期を1月末から12月下旬に前倒しするなどの変更を行い、制度の充実を図った。</p> <p>しかしながら、子どもたちの家庭における経済的状況は依然として厳しく、小中学校ともに本制度の必要性はますます高まることが推考でき、義務教育における保護者の経済的負担を軽減させる事業として今後も継続する必要がある。今後は、更なる制度の周知により、制度の活用促進を目指す。</p>	
(3) 泉南市教育委員会評価委員会の評価	
評価委員会評価 (A・B・C)	A : 計画を上回った B : 概ね計画どおり C : 計画を下回った
B	
(4) 泉南市教育委員会評価委員会の主な意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助制度の一層の周知を行っていただきたい。 ・保護者の経済的負担を考慮し、支給時期の見直しが行われている。 ・利用されている方の声を検証し、よりよい支給方法を検討していただきたい。 	

4. 今後の主な取組 【ACTION】

<ul style="list-style-type: none"> ・現状に甘んじることなく、他にできる有効な手段を常に考え、更なる制度の活用促進を目指す。 ・令和6年度には、一部の申請手続きにスマート申請を導入する。
--

泉南市教育委員会評価委員会による意見

令和5年度事業における泉南市教育委員会事務等の点検及び評価について(意見書)

令和6年10月3日 泉南市教育委員会評価委員会

泉南市教育委員会評価委員会は、泉南市教育委員会が法令に基づき、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために設置した第三者委員会である。

私たちは、泉南市教育委員会が令和5年度に実施した事務及び事業の具体的施策の中から重点項目として抽出した16事業について、内容や実施状況について説明を受け、質疑応答を経て、理解を深めた上で、点検及び評価を行った。

この意見書は、令和5年度において泉南市教育委員会が行った事務及び事業について、泉南市教育振興基本計画の基本方針1～5の構成に沿って評価委員会からの意見及び総評を取りまとめたものである。

1 基本方針1～5に対する意見

(1) 基本方針1 確かな学力の定着と豊かな心を育成する(評価調書1～6)

子どもたちだけの人権教育でなく、地域の方々に対しての人権教育も含めて、他の人権関係担当課と取組を一つにして進めていただきたい。

AIドリルの導入は大変評価できる。ただ学校や校種によって活用数の差があるため、活用推進をしていただきたい。

全校に通級指導教室の設置に向けての準備ができたことは評価できる。

「泉南っ子日本一宣言」を子どもたちが自分たちの言葉で策定したことは評価ができる。他部署と連携して「日本一」を目指す取組を検討していただきたい。

JETプログラム事業を利用したことによる英語力の向上を公表し、市の特色ある取組としてもっとPRしていただきたい。

子どもの数が減っているが、支援を必要とする子どもの数は増えているという状況の中で、支援加配の人数を減らさないよう努力していただきたい。

(2) 基本方針2 学びを支える教育基盤を整える(評価調書7)

学校教育アドバイザーを各校へ派遣し、経験年数の浅い教員の授業観察を行い、指導助言を実施することは、非常に効果的であり、指導助言をした人数も大変多くすばらしい。教育環境が変化しているため、教職員の資質・能力の向上のための取組を継続していただきたい。

(3) 基本方針3 安全・安心な教育環境を整備する(評価調書8・9)

現在の泉南市立小中学校再編計画は長期の計画であるため、児童生徒数の減少や市の財政状況を踏まえ、計画内容やスケジュールを精査する機会を設定してい

ただきたい。

施設については、近年の温暖化にも対応できるよう空調設備未設置の特別教室や屋内運動場にできるだけ早く空調設備を設置できるよう進めていただきたい。

リース方式を活用して学校園の照明器具をLED化することができたのはよい取組である。

(4) 基本方針4 生涯学習を推進する(評価調書10~14)

クラブ連絡協議会の規約を改正するなど、市民目線に立った柔軟な対応によりクラブ数の減少を止められたことは評価できる。

泉南っ子応援事業について市民に広く周知していただきたい。

東小学校等の新規留守家庭児童会の開設に向けて努力していただきたい。

青少年センター事業については、少ない人数、少ない予算で市民のニーズに応えるのはかなり難しいと思うが、ボランティアを募ることなどでニーズに応える幅が広がるのではないかと。

子どもたちの遊び場所がなかなかないという現状で、各学校にて遊び広場を開催していることはとても意義がある。

(5) 基本方針5 市を挙げて教育施策の推進体制を確立する(評価調書15・16)

子どもの意見表明が課題となっている。この課題にもう少し力をいれていただきたい。

就学援助制度をこの先をどのようにするかも含めて検討していくため、利用者の声を聴くなど、検証していただきたい。

2 総評

泉南市教育委員会は、新たに定めた泉南市教育振興基本計画(第3次)(計画期間:令和5年度から令和9年度)の5つの基本方針に基づき、様々な事業が行われた。

目指す子ども像の実現に向け、子どもたちが自分たちの言葉で作成した「泉南っ子日本一宣言」は大変素晴らしいことである。ただこれを策定し、発表したということだけに満足せず、これから色々な取組を行い有意義なものになることを期待する。

また、泉南市立小中学校再編計画の中で初めの事業である(仮称)西信達義務教育学校の整備を推進していただきたい。

令和5年度については、コロナ感染症が第5類に移行したことにより、研修やイベントが多く開催され、コロナ前の日常に戻りつつある。これからも市民のニーズに対応する取組や目指す子ども像を実現するための取組を進めていただき、泉南市の教育行政が充実・発展していくことを期待する。

泉南市教育委員会による令和5年度事業等の点検及び評価（総括）

泉南市教育委員会では「泉南市教育振興基本計画（第3次）（計画期間：令和5年度から令和9年度）」に基づき、目指す子ども像「希望と力を持ち、たくましく生き抜く子ども」の育成を目指し、様々な取組を進めてきました。

令和5年度においては、「泉南っ子日本一宣言」を策定し、学力向上施策としてAIドリルを活用し、市独自の学力検査等を実施しました。また、学校教育アドバイザーの配置による指導助言を行い、教職員の資質の向上に努めました。

泉南市教育委員会評価委員会において、16事業について点検及び評価の御意見をいただきました。令和5年度の取組については全体的に「概ね計画どおり」と評価をいただいております。中でも「国際交流と外国語教育の推進」は「計画を上回った」と評価をいただきました。また、いただいた御意見については真摯に受け止め、事業の見直し、改善及び創意工夫に努め、今後の成果の向上に生かしていきます。

最後に、点検及び評価に当たり、貴重な御意見・御提言をいただきました評価委員会委員の皆様には心から御礼申し上げます。

泉南市教育委員会評価委員会規則

1 泉南市教育委員会評価委員会規則（平成 24 年泉南市教育委員会規則第 4 号）

（趣旨）

第 1 条 この規則は、泉南市附属機関に関する条例（昭和 46 年泉南市条例第 11 号）第 3 条の規定に基づき、泉南市教育委員会評価委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営その他委員会について必要な事項を定めるものとする。

（所掌事務）

第 2 条 委員会は、泉南市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の求めに応じて、教育委員会が地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定により、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うに当たり、同条第 2 項の規定により意見を述べるものとする。

（組織）

第 3 条 委員会は、委員 4 人以内で組織する。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

3 委員は、その委嘱に係る職務が終了したときは、解任されるものとする。

（委員長）

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理する。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第 5 条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

（庶務）

第 6 条 委員会の庶務は、教育委員会事務局教育総務課において行う。

（委任）

第 7 条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

令和6年度 泉南市教育委員会

点検・評価報告書（令和5年度対象）

発行・編集 泉南市教育委員会

住 所 泉南市信達大苗代 374 番地の4